

銘柄コード:2669



**カネ美食品株式会社**

# 2020年2月期 第2四半期 決算説明会

本資料に記載されている今後の業績見通し及び各情報などは、現段階における入手可能な事項と、当社が十分合理的であると判断した事項に限って記載を致しております。

今後起こり得る各要因によって、当社の今期計画の予定及び業績が著しく異なってくる可能性も有り得ますので、その点を踏まえてのご参考資料として頂ければ幸いです。



【本資料に関するお問合せ先】

カネ美食品株式会社 総務部TEL (052)879-6113(直)

E-mail: soumu-ir@kanemi-foods.co.jp

URL: <https://www.kanemi-foods.co.jp>

## テナント事業

- ・スーパーマーケットを中心に、百貨店や駅ナカなどへ出店
- ・東海地方を中心に関東、関西に店舗展開
- ・地域や周辺環境に合わせ、柔軟な対応ができるよう様々な業態やブランドを展開

### 【出店先】

■スーパーマーケット、総合ディスカウントストア	243 店舗
ユニー(アピタ・ピアゴ)	206 店舗
UDリテール(MEGAドン・キホーテUNY、ドン・キホーテUNY)	20 店舗
その他(アオキスーパー、オオゼキ等)	17 店舗
■百貨店・駅ナカ・駅ビル等	32 店舗
百貨店	12 店舗
駅ナカ・駅ビル	17 店舗
その他(商業施設等)	3 店舗
■外食店舗	3 店舗
寿司御殿	3 店舗



MEGA ドン・キホーテUNY 太田川店



eashion ラゾーナ川崎店

## 外販事業

- ・東海地方を中心に関東、関西等に14工場を配置
- ・コンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり・パスタ等を製造
- ・鉄道会社が運営するコンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり等を製造
- ・地域の生活協同組合から、主に夕食宅配弁当の製造を受託

### 【納品先】

■コンビニエンスストア	
ファミリーマート	8,258 店舗
自販機型無人コンビニ(ASD)	1,882 台
■鉄道系コンビニエンスストア	
NewDays、KIOSK(JR東日本リテールネット)	615 店舗
■宅配関連	
コープデリ、おおさかパルコープ、コープあいち 等	全 8カ所の生活協同組合



コンビニエンスストア

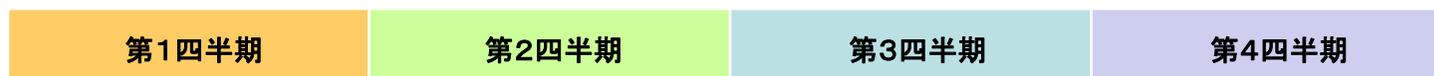


NewDays

**2020年2月期 第2四半期  
決算概況**

## ■ 決算期の変更に伴う本資料の前提について

- 前事業年度(2019年2月期)より、決算期を3月期から2月期に変更
- 決算期変更の経過期間となる2019年2月期は、2018年4月1日から2019年2月28日までの11ヵ月間
- 本資料の前提として、前第2四半期(2019年2月期第2四半期)は2018年4月1日から9月30日まで、当第2四半期(2020年2月期第2四半期)は2019年3月1日から8月31日までの期間であるため、対前年増減比較については記載なし



■ 2019年2月期(前事業年度)  
(2018年4月1日～2019年2月28日/11ヵ月)



前第2四半期(2018年4月1日～9月30日)

■ 2020年2月期(当事業年度)  
(2019年3月1日～2020年2月29日/12ヵ月)



当第2四半期(2019年3月1日～8月31日)

# 業績の状況

(単位:百万円)

	2019年2月期 第2四半期		2020年2月期 第2四半期	
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)
売上高	45,443	100.0	<b>43,509</b>	100.0
テナント事業	21,975	48.4	<b>21,029</b>	48.3
外販事業	23,468	51.6	<b>22,480</b>	51.7
営業利益	506	1.1	<b>1,101</b>	2.5
経常利益	565	1.2	<b>1,144</b>	2.6
四半期純利益	407	0.8	<b>873</b>	2.0

(注)売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

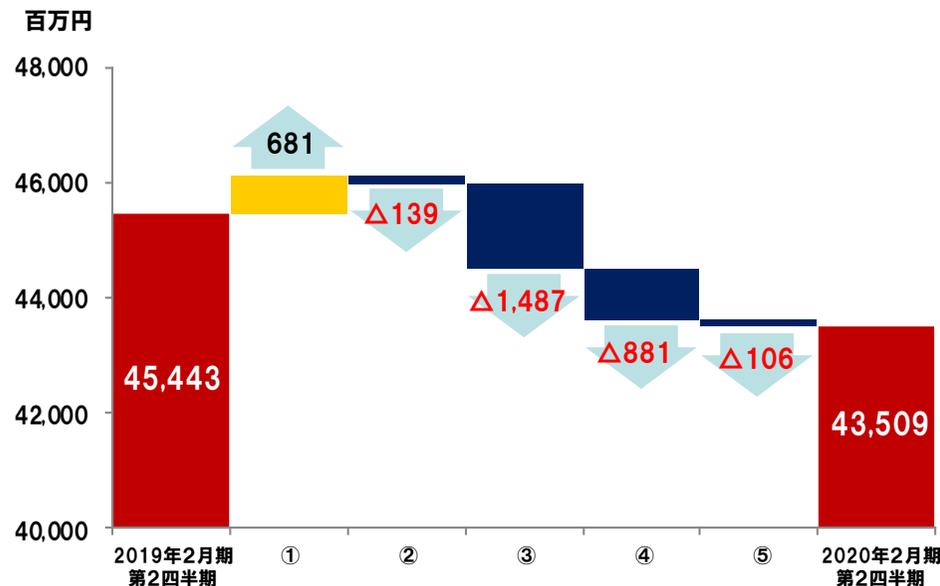
# セグメント別の業績の状況

(単位:百万円)

		2019年2月期 第2四半期		2020年2月期 第2四半期	
		実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)
テナント事業	売上高	21,975	100.0	21,029	100.0
	ユニー店舗	17,780	80.9	16,388	77.9
	UDリテール店舗	455	2.1	867	4.1
	その他店舗	3,739	17.0	3,773	18.0
	セグメント利益	787	3.5	808	3.8
外販事業	売上高	23,468	100.0	22,480	100.0
	ファミリーマート	21,387	91.1	20,505	91.2
	鉄道系コンビニ	1,057	4.5	974	4.3
	宅配	989	4.2	982	4.4
	その他	33	0.2	17	0.1
	セグメント利益または損失(△)	△281	-	293	1.3

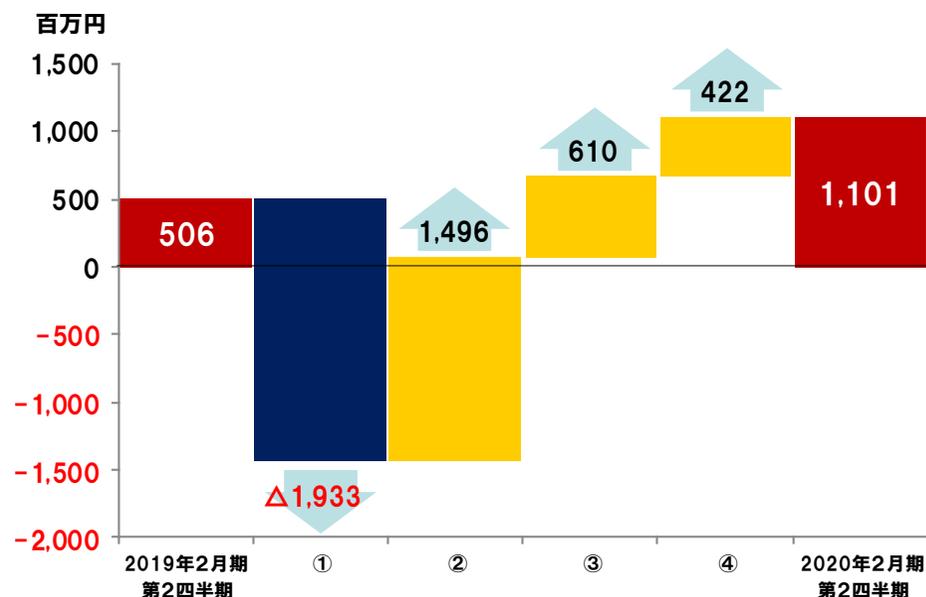
# 売上高と利益の増減要因

## 【売上高】



<b>2019年2月期 第2四半期</b>	<b>45,443 百万円</b>
①テナント 新設店舗による売上増加	681 百万円
②テナント 既存店舗による売上減少	△139 百万円
③テナント 閉店および一時閉店による売上減少	△1,487 百万円
④外販 コンビニエンスストア部門の売上減少	△881 百万円
⑤外販 その他部門の売上減少	△106 百万円
<b>2020年2月期 第2四半期</b>	<b>43,509 百万円</b>
<b>増減額</b>	<b>△1,933 百万円</b>

## 【営業利益】

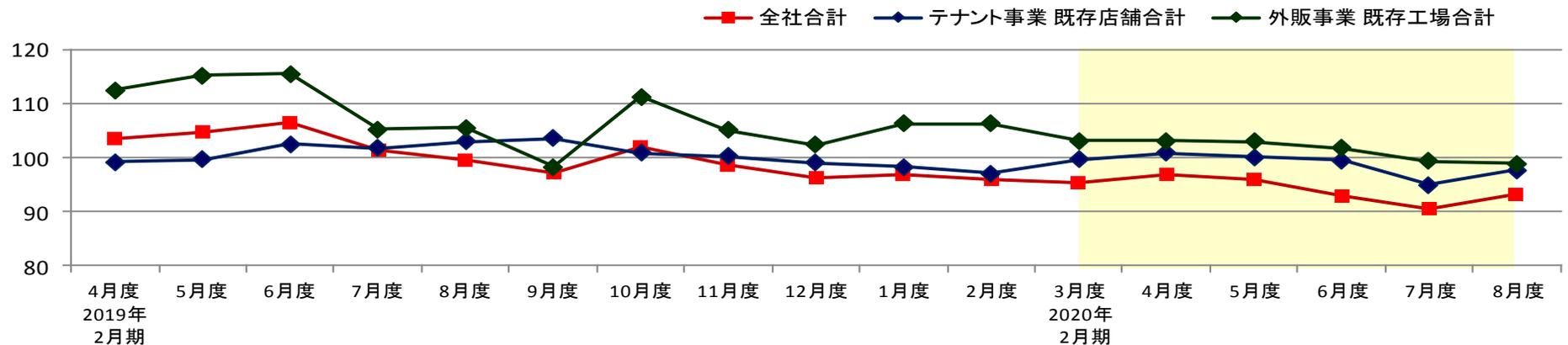


<b>2019年2月期 第2四半期</b>	<b>506 百万円</b>
①売上高の減少	△1,933 百万円
②仕入高の減少	1,496 百万円
③人件費の減少	610 百万円
④その他経費の減少	422 百万円
<b>2020年2月期 第2四半期</b>	<b>1,101 百万円</b>
<b>増減額</b>	<b>594 百万円</b>

# 月次売上高 前年比

		2020年2月期 第2四半期						
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期累計
全社合計		95.4	96.7	96.0	92.8	90.5	93.2	94.0
テナント事業	合計	97.5	97.2	96.0	95.3	91.5	93.8	95.2
	既存合計	99.6	100.8	100.0	99.4	95.0	97.7	98.7
	ユニー店舗	99.4	100.6	100.1	99.8	94.4	98.1	98.7
	UDリテール店舗	-	-	99.1	95.8	88.9	92.0	92.5
	その他店舗	100.1	101.5	99.7	98.1	98.6	96.6	99.1
外販事業	合計	93.6	96.2	96.0	90.6	89.5	92.6	93.0
	既存合計	103.1	103.1	103.0	101.7	99.3	98.9	101.5
	ファミリーマート	94.0	96.3	96.5	90.3	88.6	92.6	93.0
	その他	89.6	94.5	90.7	93.1	100.0	92.5	93.4

(注) 1.既存店舗の区分は、開店月より14ヵ月経過した店舗と定義しております。  
2.上表の累計数値は、会計上の修正額を含めて計算しております。



# 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

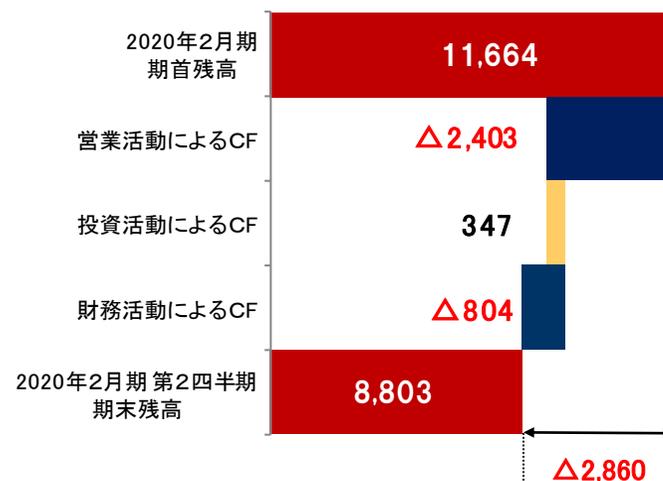
(単位:百万円)

	2019年2月期	2020年2月期 第2四半期	増減
<b>流動資産</b>	18,057	19,892	1,835
現金及び預金	11,664	8,803	△2,860
売掛金	5,694	10,342	4,648
たな卸資産	453	430	△23
その他	244	315	71
<b>固定資産</b>	13,329	12,268	△1,060
有形固定資産	11,302	10,525	△777
無形固定資産	110	111	0
投資その他の資産	1,915	1,631	△284
<b>資産合計</b>	31,386	32,160	774
<b>流動負債</b>	7,951	8,750	799
<b>固定負債</b>	196	215	18
<b>負債合計</b>	8,147	8,965	818
<b>純資産合計</b>	23,238	23,195	△43
<b>負債・純資産合計</b>	31,386	32,160	774
<b>自己資本比率(%)</b>	74.0	72.1	△1.9

(単位:百万円)

	2019年2月期	2020年2月期 第2四半期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	4,640	△2,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△401	347
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△590	△804
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	3,648	△2,860
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	8,015	11,664
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	11,664	8,803

(単位:百万円)



# 設備投資

(単位:百万円)

	2019年2月期	2020年2月期 第2四半期	
	実績	実績	主な設備投資の内容
テナント事業	201	102	新設3店舗、業態転換11店舗および店舗設備等の更新等
外販事業	271	210	生産設備の更新および増強等
その他	203	9	設備の更新等
合計	676	322	

テナント事業 店舗概要			2019年2月期	2020年2月期 第2四半期					
業態	ブランド		期末店舗数	出店	閉店	業態転換(出店)	業態転換(閉店)	改装	期末店舗数
ユニー 店舗	総合惣菜	Kanemi	177		1		12		164
	寿司専門	寿司御殿	31						31
	洋風惣菜	K-STAGE(ケイステージ)	10	1					11
UDリテール 店舗	総合惣菜	Kanemi	9			11			20
その他 店舗	総合惣菜	Kanemi	10	1					11
		e'z mart(イーズマート)	4		1				3
		ease deli(イーズデリ)	4						
	寿司専門	寿司御殿	1						1
	洋風惣菜	eashion(イーション)	29	1					30
	外食	寿司御殿	3						3
合計			278	3	2	11	12	0	278

# 設備投資:テナント事業(出店・閉店の内容)

出店	日付	業態	店舗名	ディベロッパー	所在地	業態転換に伴う再出店	日付	業態	店舗名	所在地	
	3/15	洋風	K-STAGEアピタ稲沢店 ※『寿司御殿』からのブランド転換	ユニー株式会社	愛知県稲沢市		3/27	総合	MEGAドン・キホーテUNY伝法寺店	愛知県一宮市	
	4/25	総合	MEGAドン・キホーテ甲賀水口店	株式会社ドン・キホーテ	滋賀県甲賀市		4/23	総合	MEGAドン・キホーテUNY東近江店	滋賀県東近江市	
	6/28	洋風	eashionシャポー市川店	株式会社ジェイアール 東日本都市開発	千葉県市川市		4/23	総合	ドン・キホーテUNY富士中央店	静岡県富士市	
業態転換に伴う一時閉店および再出店	日付	業態	店舗名	転換前店舗(閉店日)	所在地	業態転換に伴う一時閉店	日付	業態	店舗名(オープン日)	所在地	
	5/28	総合	MEGAドン・キホーテUNY 一宮大和店	ピアゴ大和店(3/3)	愛知県一宮市		6/9	総合	アピタ名張店 → MEGAドン・キホーテUNY(9/3)	三重県名張市	
	6/25	総合	MEGAドン・キホーテUNY 伊勢崎東店	アピタ伊勢崎東店(4/7)	群馬県伊勢崎市		6/30	総合	武豊店 → MEGAドン・キホーテUNY(9/24)	愛知県知多郡 武豊町	
	6/25	総合	MEGAドン・キホーテUNY 鈴鹿店	アピタ鈴鹿店(4/28)	三重県鈴鹿市		7/7	総合	大桑店 → ドン・キホーテUNY(10/1)	埼玉県加須市	
	7/16	総合	MEGAドン・キホーテUNY 勝幡店	ピアゴ勝幡店(4/21)	愛知県愛西市		8/4	総合	アピタ美濃加茂店 → MEGAドン・キホーテUNY(10/下旬予定)	岐阜県美濃加茂市	
	7/30	総合	ドン・キホーテUNY 藤岡店	ピアゴ藤岡店(5/5)	群馬県藤岡市		8/11	総合	アピタ桃花台店 → MEGAドン・キホーテUNY(11/中旬予定)	愛知県小牧市	
	7/30	総合	MEGAドン・キホーテUNY 太田川店	ピアゴ太田川店(6/16)	愛知県東海市		閉店	日付	業態	店舗名	所在地
	8/6	総合	MEGAドン・キホーテUNY 浜松泉町店	ピアゴ浜松泉町店(6/2)	浜松市中区			4/21	総合	アピタ吹上店	埼玉県鴻巣市
						4/30	総合	イズマート河辺店	東京都青梅市		

# 2020年2月期 業績見通し

(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 2月期	2020年2月期 計画
売上高	88,258	90,233	82,432	86,274
営業利益または損失(△)	498	△1,167	585	1,264
経常利益または損失(△)	582	△1,062	680	1,300
当期純利益または純損失(△)	△514	△932	△843	750

## テナント事業

売上高	44,768	44,030	40,388	43,395
セグメント利益	1,639	1,710	1,144	1,353

## 外販事業

売上高	43,490	46,203	42,043	42,878
セグメント損失(△)	△1,133	△2,878	△558	△88

当第2四半期において、2019年4月10日に公表した通期の見通しの一部利益項目において既に上回っているものの、現時点において通期の業績見通しは修正しないものとしました。修正をする上で必要となる情報の精査中であり、また、現状入手しうる情報で業績に影響を与える要因の有無を見極めることが困難であるためです。

# 2020年2月期 設備投資計画

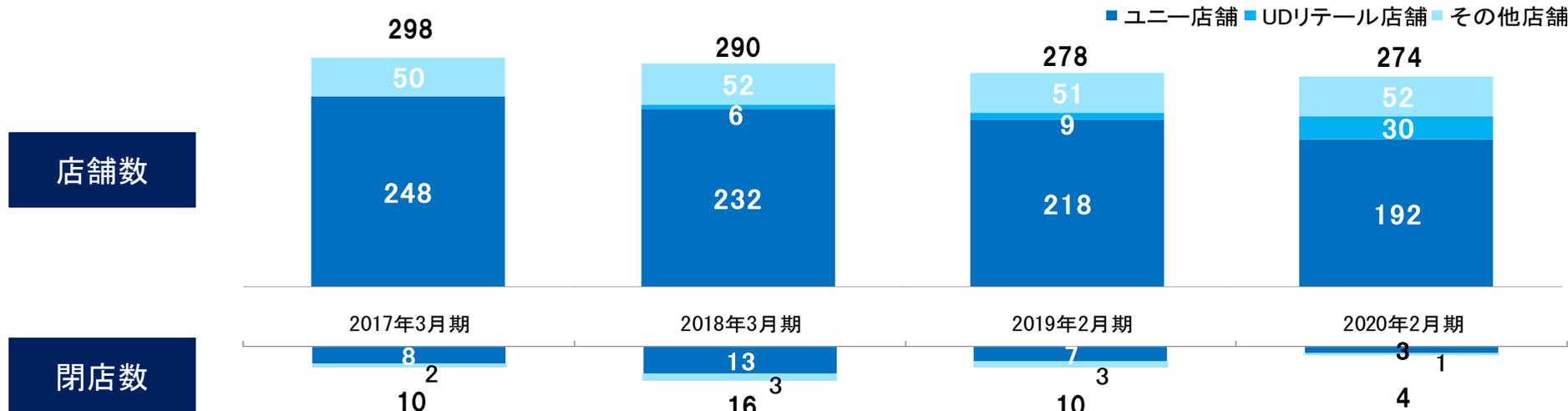
(単位:百万円)

	2019年2月期	2020年2月期	
	実績	計画	主な設備投資の内容
テナント事業	201	145	店舗の新設、改装および店舗設備等の更新等
外販事業	271	677	生産設備の更新および増強等
その他	203	56	設備の更新等
<b>合計</b>	676	879	

## テナント事業 店舗計画

		2019年2月期 第2四半期	2020年2月期 下期計画					
業態	ブランド	期末店舗数	出店	閉店	業態転換(出店)	業態転換(閉店)	改装	期末店舗数
ユニー 店舗	総合惣菜 Kanemi	164		2		12		150
	寿司専門 寿司御殿	31						31
	洋風惣菜 K-STAGE(ケイステージ)	11						11
UDリテール 店舗	総合惣菜 Kanemi	20	1		9			30
その他 店舗	総合惣菜	Kanemi	11					11
		e'z mart(イーズマート)	3					3
		ease deli(イーズデリ)	4					4
	寿司専門	寿司御殿	1					1
	洋風惣菜	eashion(イーション)	30					30
	外食	寿司御殿	3					3
<b>合計</b>		278	1	2	9	12	0	274

# テナント店舗の状況



業態	ブランド	2017年3月期						2018年3月期						2019年2月期						2020年2月期						
		出店	閉店	業態 転換 (出)	業態 転換 (閉)	改装	期末 店舗数	出店	閉店	業態 転換 (出)	業態 転換 (閉)	改装	期末 店舗数	出店	閉店	業態 転換 (出)	業態 転換 (閉)	改装	期末 店舗数	出店	閉店	業態 転換 (出)	業態 転換 (閉)	改装	期末 店舗数	
ユニー 店舗	総合惣菜	Kanemi	2	8			6	205	3	12		6	1	190		6		7	7	177		3		24		150
	寿司専門	寿司御殿					33		1				32		1				31						31	
	洋風惣菜	K-STAGE					10						10						10	1					11	
UDリテール 店舗	総合惣菜	Kanemi					0				6		6			3			9	1		20			30	
その他 店舗	総合惣菜	Kanemi					9	1					10	1	1				10	1					11	
		e'z mart	1				5		1				4					1	4		1				3	
		ease deli					4						4						4						4	
	寿司専門	寿司御殿					0	1					1						1						1	
	洋風惣菜	eashion	3	2			29	3	2				30	1	2			1	29	1					30	
	外食	寿司御殿					3						3						3						3	
<b>合計</b>			<b>6</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>298</b>	<b>8</b>	<b>16</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>290</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>278</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>20</b>	<b>24</b>	<b>0</b>	<b>274</b>

※ 2020年2月期の店舗数は、上期実績＋下期計画を記載しております。

**2020年2月期 第2四半期  
業績総括および今後の見通し**

## テナント事業

- **創業50周年を迎え、50年間の感謝と今後の成長に繋げる挑戦**
  - ・ ディベロッパーや業態に応じた『創業50周年記念セール』の企画(限定商品の販売や、まとめ売り販売など)  
⇒ 売場の活性化および販売力の強化
- **新規出店14店舗(内、業態転換11店舗)、閉店14店舗(内、業態転換に伴う一時閉店12店舗)**
  - ・ UDリテール店舗(ドン・キホーテとユニーのダブルネーム業態転換店舗)11店舗をオープン(転換店舗総数20店舗/8月末時点)  
⇒ 新規オープン時の売上の増加効果は得られたものの、転換に伴う一時閉店が影響し事業全体の売上高は減少
  - ・ 株式会社ドン・キホーテが運営する『MEGA ドン・キホーテ』への初出店(4/25 MEGA ドン・キホーテ甲賀水口店(滋賀県甲賀市))
- **業態転換店舗のビジネスモデルの確立と浸透**
  - ・ 転換に伴う店舗環境の変化に応じた商品政策および店舗運営の遂行
- **既存店舗のさらなるレベルアップ**
  - ・ 売場の核となる定番商品の販売強化の継続と既存店舗での横展開

## 外販事業

### 工場運営の精度向上による利益面の改善

- ・ロス削減や在庫管理の徹底による荒利率の改善
- ・人員計画の管理による労務費の削減
- ・コスト意識の徹底、良例の情報共有

### 不採算工場の閉鎖による利益面の改善

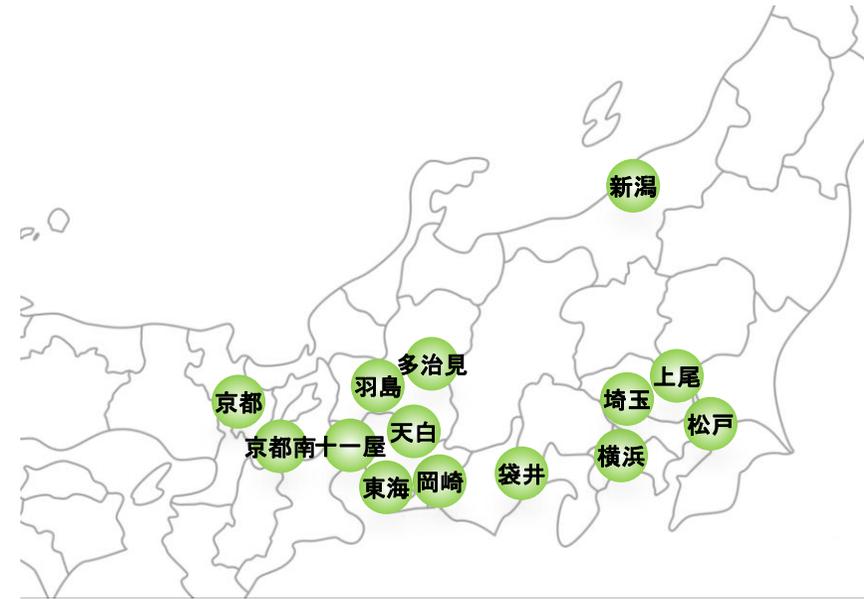
- ・秋田工場(秋田県秋田市)を6月末にて閉鎖し、現在14工場を稼働

### 売上高の確保への取組み

- ・自社のテナント店舗向け商品のメニュー改廃や納品エリアの拡大に取り組み、納品先として確立
- ・4月より新たに『大阪よどがわ市民生協』への夕食宅配の製造納品を開始
- ・納品店舗数の減少や物流センター(関東)の統廃合等の影響により、総じて売上高は伸び悩み

### 継続的な品質の向上

- ・安心・安全で美味しい商品づくり  
⇒ 製造管理体制のさらなる強化およびルールの周知徹底、再教育



## テナント事業

- 続々と予定される業態転換店舗のビジネスモデルの確立と浸透(下期10店舗の出店予定)
- 創業月の11月を中心とした「創業50周年記念セール」の実行と今後に関わる挑戦
- クリスマス、年末年始など「ハレの日」の消費動向の変化に対する分析と計画の精度向上

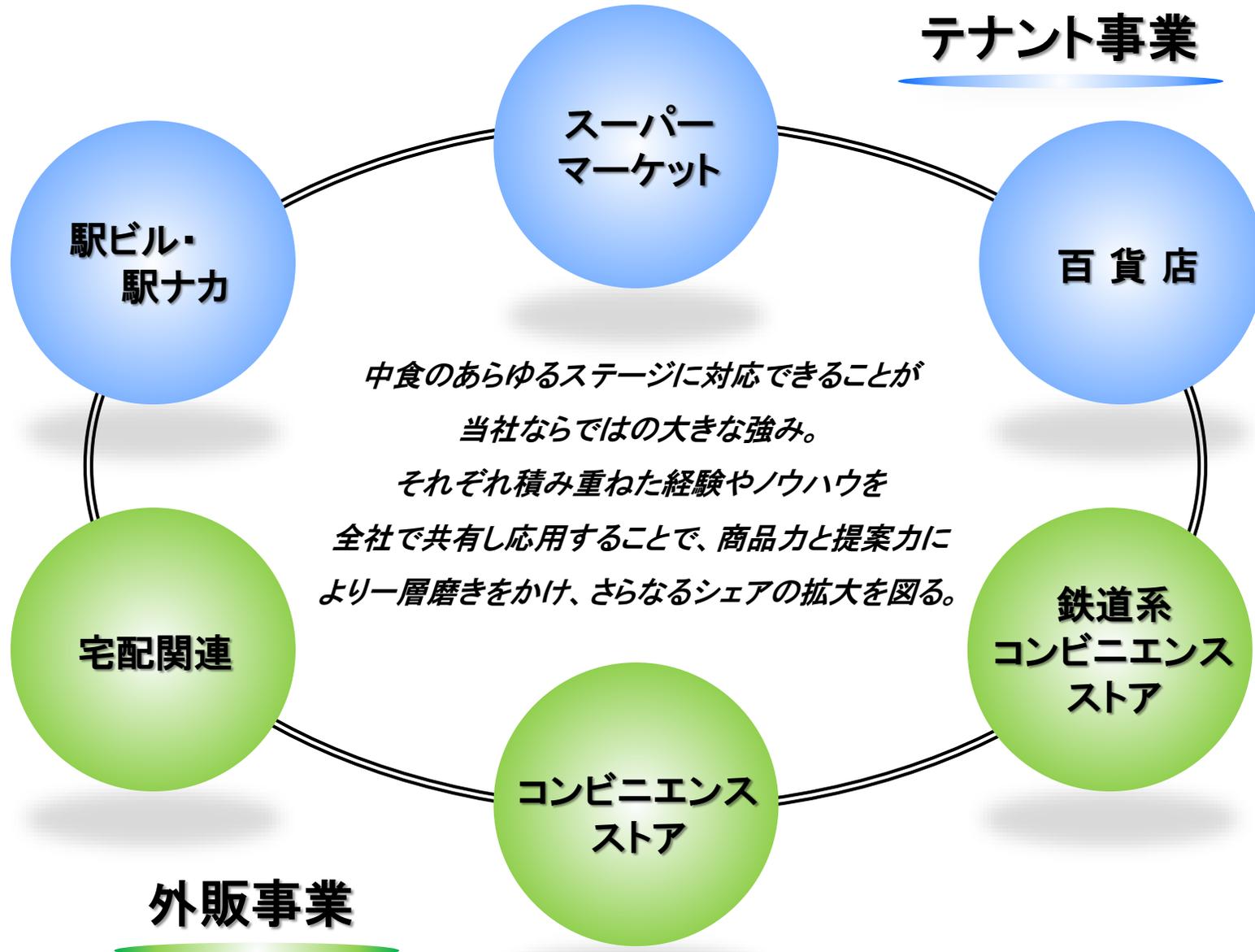
## 外販事業

- 営業活動の推進による納品量の増加
- 労務費、原材料荒利の管理によるコスト適正化のさらなる推進
- 全工場のJFS-B規格に基づくHACCP認証取得による製造管理体制のさらなる強化

## 当社の基本事項

- 安全・安心で高品質な商品の提供
- 人材育成の強化、労働環境の整備
- 美味しい物づくりの追求
- コスト意識の徹底

**基本を忠実に実行、徹底 ⇒ ブランドの確立とさらなる強化に**



# ご参考: 中食市場について

## 国内の中食(惣菜)市場規模は10兆円超

中食市場は、これまで少子高齢化や核家族の進行、女性の社会進出などによるライフスタイルの変化により規模を拡大。

一方、成長性が見込まれるため、中食ベンダー・食品メーカー・SM等の参入増加により、競争環境が厳しさを増している。

当社は、この国内の中食市場内におけるシェアの拡大を図り、企業価値の向上を目指す。

### 求められているもの

#### 日常性

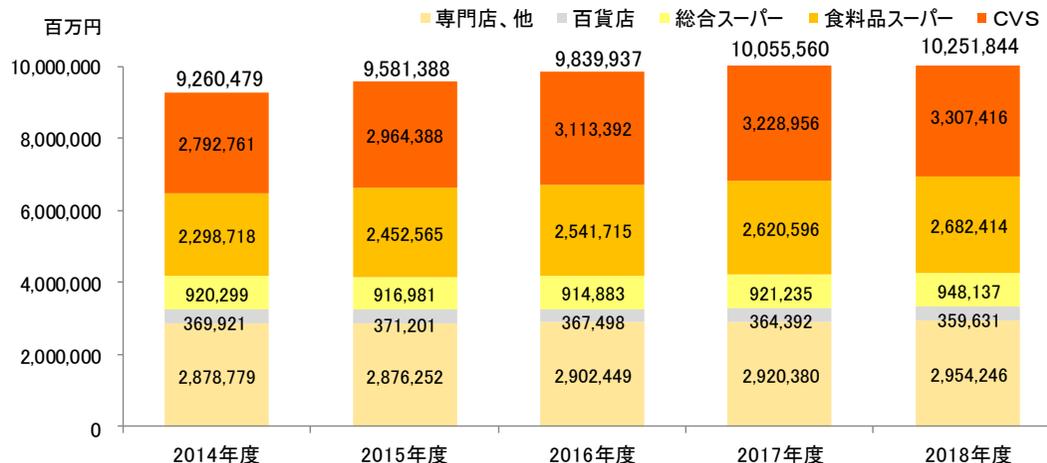
- 安心安全 → 品質管理、衛生管理
- おいしさ → 地域の自然の恵み(地産地消)  
季節の恵み  
鮮度  
カロリーや栄養コントロール
- 手軽さ → 簡単調理  
価格・ボリューム

#### 非日常性

- 高付加価値商品 → デザイン性・ブランド力等  
珍しい食材・高級食材  
豊富なメニュー

### 【参考資料: 惣菜市場規模】

出所: 社団法人日本惣菜協会 2019年版惣菜白書



※ 専門店: 惣菜専門店(惣菜販売店、持ち帰り弁当店、仕出し弁当店、給食業者、駅弁売店、寿司販売店、おにぎり販売店、調理パン小売業(サンドイッチ、ハンバーガー等)、ピザ小売業(持ち帰り)など)、イトインコーナー併設型惣菜店、受注後調理型惣菜店など

### 【参考資料: 年間の1世帯当たりの品目別支出平均金額(総世帯)】

出所: 総務省統計データ  
(品目分類)第10表 年間収入五分位階級別1世帯当たり 品目別支出金額及び購入頻度(総世帯)

